



竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

いっぱい笑ってくれることを期待



静まり返った体育館から「はい！」の声だけが響きます。4年生が国語科「百人一首」を使った授業です。また、5年生が福祉実践教室を開催。様々な体験活動に取り組みました。1年生は幼保小の交流会に向けて準備を進めています。3学期がスタートしてた

った10日間。インフルエンザの拡大防止に十分力を入れつつ、充実した教育を展開しています。

20日(月)の放送集会では、私からサッカー元日本代表の三浦知良選手(57歳)を紹介。「明治安田の未来世代応援アクション with カズ」の一環として開催されたもので、同社の

イメージキャラクターを務めるカズからのメッセージとともに、背番号11にかけた1・1万個のサッカーボールを、全国の子供たちに届けており、竜美丘小にも2個寄贈。キングカズの「このボールを使って、いっぱい夢を語り、いっぱい汗をかいて、いっぱい笑ってくれることを期待している」という願いとともに、大谷選手のグローブと同様、休み時間にぜひ使ってほしいと伝えました。



卒業文集を書いている6年生が現在、一度自分を振り返るよい機会に。成長、変化、自信がついたこと、中学校でがんばりたいこと、中には将来の夢を語る子までいます。私から、竜美っ子であった2名も紹介しました。小学校の時、どんな夢をもって走り抜けたのか、ぜひお話聞きたいですね。

実は、3年生が社会科で「岡崎市の人口減少をとめるためにはどうすればよいか」をテーマに意見を出し合い、将来の市の在り方について考えていました。働く場の確保、保育園や外国籍の子の学校、アトラクションプールの設置案だけでなく、だれのために、どのような内容にまで熱く討論を。さらに、「豊川市、蒲郡市と合併しては」とまるで政治家です。これからのこと、周りのことを考えることで、竜美っ子が自分を見つめ直しますね。



竜美丘小を卒業して活躍する人たち
※中日新聞より抜粋・編集

○長谷部 銀次 ※2011年卒・ソフト部
竜美丘小、竜海中、中京大中京高、慶応大、トヨタ自動車を経て2022年にドラフト六位で広島入団。24年一軍で五試合、二軍で25試合に登板。

○壺井 達也 ※2015年卒・水泳部
まさに文武両道。全日本選手権でショートプログラム14位から三位に入った男子の壺井はスケートと卒業論文の執筆を両立させて世界選手権の切符を手にした。初の代表選出に喜びながらも「選ばれたからには三か月間、できる全ての練習をスケートにささげたい」と気を引き締める。